



一般社団法人 日本美術家連盟

情報公開書

目次

平成 23 年度事業報告	3
平成 23 年度貸借対照表	9

日本美術家連盟事業区分

実施事業

調査研究に係る事業

- ・ 研究事業及び提言事業
- ・ 美術関連資料の収集と提供

情報発信に係る事業

- ・ 資料刊行事業
- ・ インターネットによる情報提供
- ・ 機関紙の刊行、頒布

普及・啓蒙に係る事業

- ・ 国際交流事業
- ・ セミナー・講習会等事業
- ・ 相談事業

収益事業

著作権管理事業

貸室・貸画廊事業

共益事業

見舞・弔慰

保険斡旋

展覧会入場優待

会員管理・会費管理

法人管理

平成 23 年度事業報告

平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

〔実施事業〕

調査研究に係る事業

1. 研究事業及び提言事業

(1) 著作権の関係機関・団体の活動への協力

日本著作者団体協議会、著作権情報センター、日本美術著作権連合、日本美術著作権機構等著作権の関係機関・団体の活動に協力し、当面する著作権問題についての情報を収集、研究した。又、著作権制限に関する一般規定等法改正の際に、文化庁のヒアリング等を通じ、美術家の立場から種々意見の具申を行った。

(2) 美術著作権の集中管理の在り方についての研究

美術著作権の集中的な管理の在り方について、連盟著作権委員の代表と美術著作権協会 (SPDA) との間で協議、研究を行った。連盟より推薦された理事及び参与と SPDA が、日本における著作権の集中処理機構を目指して日本美術著作権協会 (JASPAR) を設立した。

(3) 義務教育における美術教育の実態の調査・研究

海外の美術教育の現状を調査・研究するため、下記記事を連盟ニュースに掲載した。

- ・「中華民国（台湾）の美術教育」毛美月氏執筆 〈第 438 号〉
- ・「フランスの美術教育にかかわった経験」平川滋子氏執筆 〈第 439・440 号〉
- ・「絵を描くことは生きる力になる」野村路子氏執筆 〈第 440 号〉
- ・「カナダの美術教育」ローリーキッド氏執筆 〈第 441 号〉
- ・「スウェーデンの小中学校及び高等学校 美的教育から考えること」増井美奈子氏執筆 〈第 441 号〉

(4) 技法材料の研究

技法材料に係る調査・研究のため、下記記事を連盟ニュースに掲載した。

- ・「混合技法 in Wien」中村智恵美氏執筆 〈第 438 号〉
- ・「旺玄会 木リト講座」加藤良子氏、角田元美氏執筆 〈第 439 号〉
- ・「日本の油絵技術移入史を考える」森田恒之氏執筆 〈第 441 号〉

(5) 野見山暁治氏、豊福知徳氏にインタビューを行い、連盟ニュースに掲載した。

2. 美術関連資料の収集と提供

図書、雑誌等を収集し、雑誌 3 誌、図書 2 2 冊、図録等 9 3 冊の寄贈を受けた。

情報発信に係る事業

1. 資料刊行事業

会員追加名簿を刊行した。

2. インターネットによる情報提供

- ① 美術家連盟ウェブサイト運営。沿革、組織、入会方法、貸室・貸画廊情報、その他連盟の概要に係る情報の他、会員個展や海外展覧会開催案内、在外研修員募集要項などの情報を提供。
- ② 美術・写真・グラフィックアートの分野の3団体で構成される日本美術著作権機構(APG-Japan)によって運営される APG データベースを通して、作品画像及び著作権情報を広く一般に提供した。

3. 機関紙の刊行・頒布事業

「連盟ニュース」を年4回刊行し（第438号～441号）、会員、美術館、美術団体、関係組織、報道機関等に頒布した。

普及・啓蒙に係る事業

1. 国際交流事業

(1) 国際美術連盟（IAA）加盟団体としての協力事業

- ① 第17回 IAA 総会が4月3日から7日までメキシコ・グアダハラで開催され、日本委員会を代表して入江観（団長）、馬越陽子、森野真弓の3氏が出席し、池谷事務局長代理が随行した。同総会で執行委員選挙が行われ、入江氏が執行委員兼アジア太平洋地域コーディネーターに選出された。
- ② IAA 執行委員会が9月27日から29日までフランス・パリのユネスコ本部別館で開催され、入江執行委員が出席した。同執行委員会では会費負担額の基準見直し、IAA 保有の作品の処理方法、IAA カード等の問題について協議された。

(2) 文化庁の芸術家研修員制度への協力事業

文化庁の依頼により、新進芸術家海外研修員の応募を募り、候補者を文化庁に推薦したところ、5名が内定した。

(3) 美術家の国際展、国際コンペ等への参加斡旋事業

下記国際展の応募要領を会員に知らせた。

〈連盟ニュース〉

- ① 16th Sculpture by the Sea Cottesloe 2012
（オーストラリア・パース 2012年3月1日～3月19日）
- ② 第11回 レッセドラ国際小版画展
（ブルガリア 2012年6月13日～8月31日）
- ③ 第2回 レッセドラ国際ペインティング & ミクストメディアコンペティション
（ブルガリア 2011年12月15日～2012年2月15日）

〈連盟ウェブサイト〉

- ① 16th Sculpture by the Sea Bondi
（オーストラリア・シドニー 2012年10月18日～11月14日）
- ② 奴隷制と間大西洋奴隷貿易の犠牲者を顕彰する国連の恒久的なモニュメントに係る国際コンペ
第一次応募締切 2011年12月10日
二次選考／最終選考 2012年3月
受賞者の選定と報道発表 2012年4月

2. セミナー・講習会等事業

①美術家連盟新会員奨励展の開催

第5回美術家連盟新会員奨励展を2011年5月23日から5月28日まで美術家連盟画廊において開催し、若年の新会員19名の作品20点を展示、紹介した。

②地区活動の推進

近畿、東海、四国の各地区により下記活動が実施された。

ア) 近畿地区

- ・「きのうとあすの対話」展（4月5日～24日 サクラアートミュージアム）
- ・「タブローとしてのフレスコ画」実技講習会（4月17日 クレパス本社）
講師：大野彩、小作青史、鈴木朝湖 諸氏
- ・総会、懇親会（4月17日 クレパス本社）

イ) 信越地区

- ・「信越地区会員展」(6月30日～7月5日 新潟県民会館ギャラリーB)

ウ) 東海地区

- ・世界文化遺産 白川郷・合掌の里芸術祭協賛参加（10月1日～8日）

エ) 四国地区

- ・四国地区在住会員展2012（1月19日～24日 阿波銀プラザ）

③後援・協賛名義使用

下記の展覧会を後援、協力した。

後援 「全国美術館会議主催 東日本大震災復興チャリティーアート展」

「日本建築美術工芸協会主催 第22回AACA賞・第11回芦原義信賞」

協力 「文化庁・国立新美術館主催 DOMANI 明日展」

④青柳正規全国美術館会議会長と山本貞理事長の対談を実施、美術館の現況、美術館と美術家との関係につき、意見を交換した。

3. 相談事業

会員及び一般からの著作権に関する相談、問い合わせに応じるとともに、法律顧問、税務顧問の援助を得て、法律問題、税金問題等、各種の相談について便宜を図った。

〔その他事業〕

収益事業

1. 国内著作権代理業務

著作権管理委任契約約款に基づき、国内作家の著作権者の代理として、美術作品の著作権使用に係る許諾契約を締結し、著作権使用料の徴収等、処理業務を実施した。

(著作権手数料収入 4,354,665円)

2. 外国著作権代理業務

海外著作権管理団体との双務契約に基づき、海外美術作品の著作権使用に係る許諾契約を締

結し、著作権使用料の徴収等、処理業務を実施した。(著作権手数料収入 1,238,263 円)

3. 貸室・貸画廊

- ①会議室、アトリ工及び画廊を賃貸し、会員、美術団体等の利用の便を図った(貸室： 60 団体、貸画廊：奨励展除く、20 作家団体 28 会期)。
- ②一般社団法人日本美術著作権協会と定期建物賃貸借契約を締結し、美術家会館 6 階 604 号室を賃貸した。

共益事業

1. 見舞・弔慰

- ①内規に基づき下記の通り実施した。

病気・負傷見舞	43 件	670,000 円
長期療養見舞	46 件	147,200 円
弔 慰	79 件	2,050,000 円
合 計	168 件	2,867,200 円

- ②東日本大震災に際し、会員に呼びかけて義捐金を募り、被災県居住の会員を対象に、被災規模に応じて見舞金を贈呈した。

寄付者：939 名 + 1 グループ
義捐金総額：4,927,500 円
見舞金贈呈会員数：157 名

- ③台風 12 号の被災状況を確認し、見舞金を贈呈した。

2. 下記保険の加入斡旋を行った。

- ・文芸美術健康保険組合
58 加盟団体被保険者 11,504 名のうち連盟関係 818 名
- ・美術家所得補償保険
- ・がん保険

3. 会員管理・会費管理

会員台帳及び会費台帳の管理を行った。

4. 展覧会入場優待

会員証による各種美術団体、各種展覧会等への入場優待及び割引入場の便宜を図った。

会員、役員等及び運営の状況

1. 会員等の現在数（年度末）

正会員：5,302名 前年度末：5,345名
（内訳）日本画部：371名、洋画部：3,939名、版画部：369名、彫刻部：623名
年度中入会：145名 物故者：70名 退会者：118名
外国人会員：28名
準会員：811名
賛助会員：8名（個人2 法人6）
顧問：12名

2. 役員、委員及び職員

理事：20名（内理事長1名、常任理事3名）
監事：2名
委員：70名（兼 IAA 日本委員会委員）
職員：5名（内事務局長1名）
嘱託：2名

3. 各種小委員会

入会申込選考委員	28名
明治以降美術の業績調査委員	17名
技法材料研究委員	25名
著作権委員	25名
画廊運営委員	17名
IAA 常任委員	19名
ニュース編集委員	21名
福利厚生委員	17名
美術教育に関する研究委員	27名

※各小委員会に委員長1名、副委員長1名をおく。

4. 各種会合

通常総会	1回	
臨時総会	1回	
理事会	22回	（内 兼委員会4回、兼委員会・IAA日本委員会7回）
臨時理事会	1回	
定例委員会	11回	（内 兼委員会4回、兼委員会・IAA日本委員会7回）
常任理事会	2回	
拡大常任理事会	2回	
ニュース編集委員会	11回	
入会申込選考委員会	3回	
文化庁芸術家研修員候補者選考委員会	1回	
IAA 日本委員会	7回	（兼理事会・委員会）
地区代表委員会	1回	
SPDA との美術著作権の集中処理のあり方に関する研究会議	11回	

5. 外部団体・委員会等への参加

文化庁文化審議会著作権分科会	(臨時委員 1 名)
著作権情報センター	(理事 1 名)
デジタル時代の著作権協議会 (CCD)	(監事 1 名)
CCD 各種研究会	(委員 2 名)
日本著作者団体協議会	(理事 1 名 監事 1 名)
日本美術著作権機構	(会長 1 名 理事 3 名)
日本美術著作権連合	(理事長 1 名 理事 2 名 監事 1 名)
文芸美術国民健康保険組合	(副理事長 1 名 監事 1 名)
国立国会図書館資料デジタル化と 利用に関する関係者協議会	(1 名参加)
美術等の著作物に係る関係団体協議会	(2 名参加)

貸借対照表

平成 24 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	181,670,549	179,235,095	2,435,454
売掛金	670,627	1,014,285	△ 343,658
未収入金	165,900	69,090	96,810
商品	4,867,403	4,867,403	0
貸付金	725,000	740,000	△ 15,000
仮払金	0	200,000	△ 200,000
事業部勘定	232,161,301	230,626,596	1,534,705
流動資産合計	420,260,780	416,752,469	3,508,311
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 投資有価証券			
有価証券	635,000	635,000	0
投資有価証券合計	635,000	635,000	0
(3) 特定資産			
新会館建設引当資産	280,000,000	280,000,000	0
職員退職給付引当資産	29,374,000	46,000,000	△ 16,626,000
特定資産合計	309,374,000	326,000,000	△ 16,626,000
(4) その他固定資産			
土地	65,160,360	65,160,360	0
建物	40,764,706	40,764,706	0
同減価償却引当金	-33,602,231	-33,342,453	△ 259,778
建物付属設備	18,937,478	18,937,478	0
同減価償却引当金	-18,078,239	-17,773,818	△ 304,421
器具・備品	9,863,502	10,124,742	△ 261,240
同減価償却引当金	-9,162,322	-8,853,348	△ 308,974
電話加入権	146,484	146,484	0
ソフトウェア	298,418	596,835	△ 298,417
			0
その他固定資産合計	74,328,156	75,760,986	△ 1,432,830
固定資産合計	404,337,156	422,395,986	△ 18,058,830
資産合計	824,597,936	839,148,455	△ 14,550,519
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	55,349	0	55,349
前受金	126,000	0	126,000
預り金	23,692,919	27,615,111	△ 3,922,192
仮受金	91,110	0	91,110
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税	488,600	372,600	116,000
一般会計勘定	232,161,301	230,626,596	1,534,705
流動負債合計	256,685,279	258,684,307	△ 1,999,028
2. 固定負債			
退職給与引当金	3,147,600	0	3,147,600
固定負債合計	3,147,600	0	3,147,600
負債合計	259,832,879	258,684,307	1,148,572
III 正味財産の部			
一般正味財産	564,765,057	580,464,148	△ 15,699,091
(うち基本財産へ充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	0
(うち特定資産へ充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	564,765,057	580,464,148	△ 15,699,091
負債及び正味財産合計	824,597,936	839,148,455	△ 14,550,519